日工組通信

第55回

パチンコ・パチスロ依存問題フォーラム開催

その実情と対策

正しい知識を専門家が解説

政府が定めた「ギャンブル等依存症対策推進基本計画」では5月14日から20日までを「ギャンブル等依存症問題啓発週間」とし、この期間に公営競技やパチンコ・パチスロの事業者などに依存問題についての広報活動を実施することを明記している。

パチンコ・パチスロ業界は14日、都内でその活動の一つとして「パチンコ・パチスロ依存問題フォーラム」を開催した。

「パチンコ・パチスロ依存問題フォーラム」は、業界内はもちろんのこと一般の人たちに依存問題を正しく理解してもらうことを目的としたものだ。

このフォーラムではパチンコ・パチスロの依存問題に詳しい専門家が講演。最初に精神科医で長年、遊技業界の依存問題対策に取り組んできた相談機関リカバリーサポート・ネットワーク（RSN）の西村直之代表理事が日本の「ギャンブル依存」の実情について説明した。

日本では「遊技」と規定されているパチンコ・パチスロ、競馬やボートレースのような公営競技、最近ではソーシャルゲームのガチャなど、射幸性を有した様々な行為があり「ギャンブル」の定義は難しい。これについて西村氏は「世界ではモノやお金など価値あるものを賭ける行為、またはそのような行為を商業化したものを『ギャンブリング』『ゲーミング』という呼称で包括している。ギャンブルの定義は国や地域によって異なるが、言葉の定義にとらわれていると対策は進まない」。

また、西村氏は、医学的に「ギャンブル依存症」という病気はなく、日本では行政用語として使われていると指摘。ギャンブリングによって生活に支障が起こる、苦痛を抱えるといった人を「問題あるギャンブラー」として対応するのが世界の標準的な考え方だとした。

では、問題あるプレイヤーとはどんな人なのか。西村氏の説明では、仕事よりも優先したり、お金を得る手段と本気で考えたりするなど、ギャンブリング行為によって悪影響が生じても行動や習慣の修正ができない人たちだと言う。

さらにホールが取り組んでいる、安心パチンコ・パチスロアドバイザーの配置やRSNのポスター貼付、自己申告・家族申告プログラムなどを紹介したうえで「効果としては充分ではないが、やっていることは世界の基準に近い」と評価。今後については「パチンコホール軒数や参加人口は減り、射幸性の高い機種も減っているので、依存問題を抱える人は自然に減少していく。しかし、パチンコ・パチスロ産業は世界最大級のゲーミング産業であることに変わりなく、一定の問題を抱える人が発生する。産業としてこの対策を何より継続していくことが重要だ」と提言した。

リカバリーサポート・ネットワーク
西村直之代表理事

「産業としてこの対策を何より継続していくことが重要」（西村）

引き続き、日工組社会安全研究財団（社安研）でパチンコ・パチスロ遊技障害研究会員を務める、お茶の水女子大学の坂元章教授が、昨年調査した「パチンコ・パチスロ遊技障害全国調査」を解説。パチンコ依存の実態把握やその予防・回復に資する学術研究を行うための調査で、社安研の研究会が作成した「パチンコ・パチスロ遊技障害尺度」（PPDS）を用いたことに触れ、結果「パチンコ・パチスロ遊技障害を有している（有していた）おそれがある人」の割合は全回答者の0・9%で、この数値をもとに、国内にいる「直近あるいは生涯の特定の1年間において軽度以上のパチンコ・パチスロ遊技障害を有する（有していた）おそれのある人」を推計すると89万4876人。「直近1年間において、パチンコ・パチスロ遊技障害を有しているおそれがある人」の割合は0・4%で推計人数は39万9799人だったことを報告した。

お茶の水女子大学
坂元章教授

社安研ではこの全国調査をもとにデータ分析を進めており、遊技障害に及ぼす影響や重症化の過程、回復の実態などの研究を進めていることを伝えた。

このほか、精神保健福祉士で依存問題などの支援を行う「浦和まほろ相談室」の高澤和彦代表がRSNの対面相談やワンデーポートの個別相談についての事例を紹介。ワンデーポートの中村努施設長は、これまでの活動と、自身の「ギャンブル依存」に対する考え方について語った。ワンデーポートは問題が重症化した一部の人が利用する施設で、重要なのは早期の発見と予防だとし「早期の改善はホールの中にあると思う。ホールで起こっていることを私たちも学んでいきたい」と述べ、ホールの役割に期待を寄せた。

依存問題を理解し解決していくこと。フォーラムはそれぞれの人たちが共有するそんな場となった。

浦和まほろ相談室
高澤和彦代表

パチンコ・パチスロを楽しむために知っておいてほしいことって？

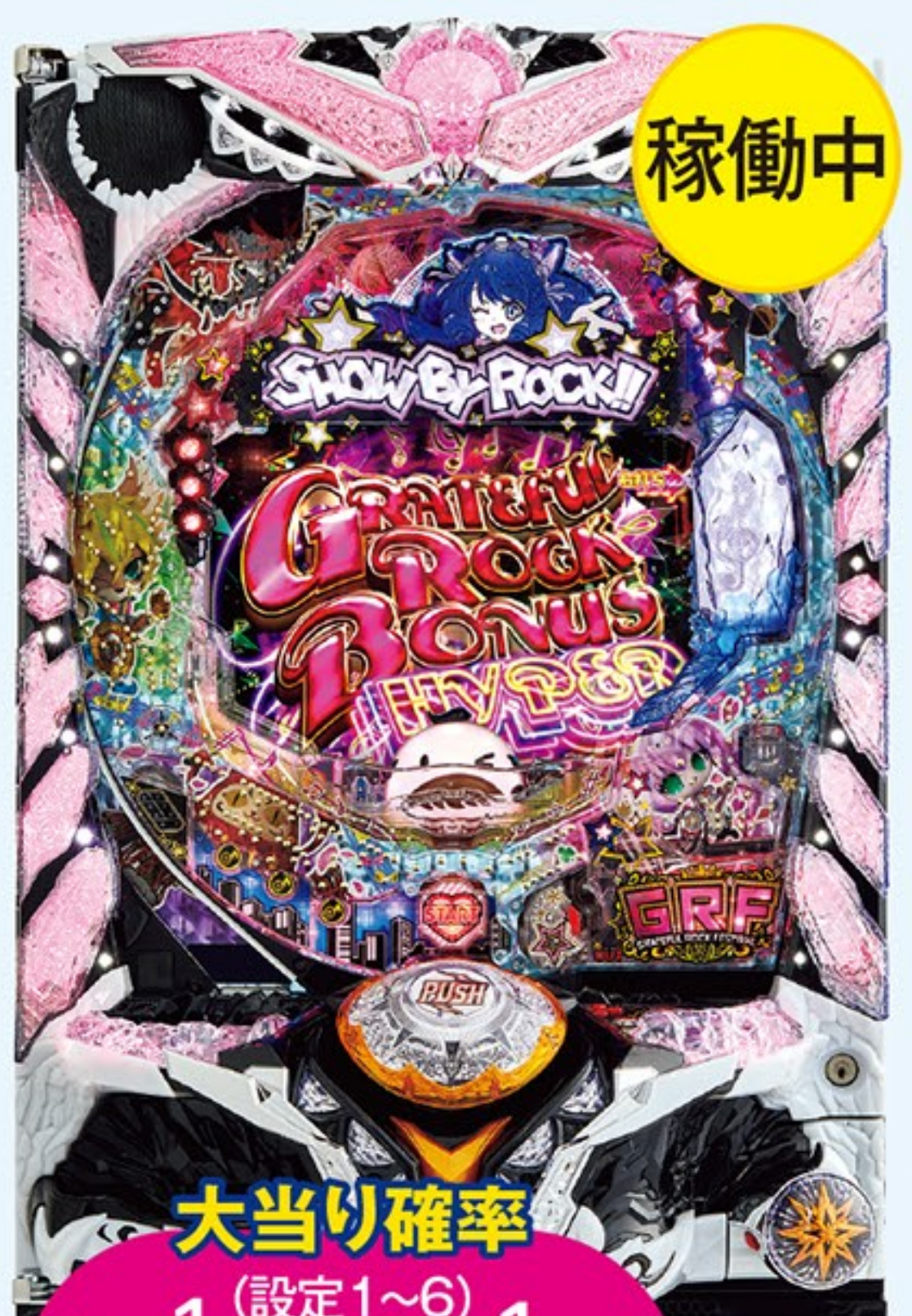
パチンコ・パチスロを楽しむために知っておいてほしいこと
01
02
03
若い
04
シニア層の
05
女性の
06

自分が思うよりもお金や時間を使ってしまう…思い当たる人は多いのでは？ パチンコやパチスロを遊ぶ際に気をつけたいこと。そんな注意点などをまとめたのがパチンコ・パチスロ依存問題予防・啓発リーフレットの「パチンコ・パチスロを楽しむために知っておいてほしいこと」。このリーフレットは、①パチンコ・パチスロを楽しむために知っておいてほしいこと、②パチンコ・パチスロの基礎知識、③あなたの遊び方は安全ですか？④若いプレイヤーに知っておいてほしいこと、⑤シニア層のプレイヤーに知っておいてほしいこと、⑥女性のプレイヤーに知っておいてほしいこと、の6種。いずれも依存問題の予防に焦点を当てた内容が盛り込まれている。

制作・監修したリカバリーサポート・ネットワークの西村直之代表は、「このリーフレットが日本全国のパチンコホールを通して多くのユーザーの手に届き、パチンコ・パチスロ依存のリスク最小化に寄与できることを願っている」と話す。

パチンコ新台情報　ニューフェースが続々登場

P SHOW BY ROCK!!（サミー）



稼働中

大当り確率
約$\frac{1}{219.9}$～$\frac{1}{181.5}$（設定1～6）

© 2012,2019 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. S593668 SP#
© Sammy

「SHOW BY ROCK!!」は数々の人気キャラを生み出しているサンリオによるバンドがテーマのキャラクタープロジェクトで、2012年に誕生。15年、16年にはTVアニメ化もされている。初めてのコラボとなるパチンコでの演出のメインテーマは、かわいいミニキャラたちが繰り広げるバンドバトル。もちろんさまざまな場面で歌の魅力も存分に味わえる。6段階の設定付きで、確変割合80%と、まさに最先端のスペック。電サポ中の10ラウンド割合が50%あるのも魅力的だ。

Pうる星やつら～ラムのラブソング（ニューギン）

6/3～

大当り確率
約$\frac{1}{219.91}$

© 高橋留美子／小学館
© Newgin

「うる星やつら」は1978年連載開始で、昨年、誕生から40年を迎えたドタバタSFラブコメの名作だ。過去に何度もパチンコになっているが、令和元年に再び登場する。オリジナルアニメーションを美しい液晶演出で搭載しているほか、TVアニメの主題歌「ラムのラブソング」をパチンコ初収録。演出&歌とパチンコならではの数々のギミックの相乗効果により、新たな〝うる星ワールド〟が生まれた。確変継続率約82%のロングSTタイプで、初回通常大当りでも時短100回転が付く。

PA女子ザジャイアント（豊丸）

稼働中

大当り確率
約$\frac{1}{129.8}$～$\frac{1}{99.9}$（設定1～H）

© TOYOMARU

※導入日は一部地域によって異なる場合があります

「アンドレ星人総帥の侵略から地球を救う」が演出のテーマのオリジナルマシン。異星人との壮絶なバトル……と思いきや、登場するのは美女ばかり。アンドレ星人を迎え撃つ地球側の代表は通称〝VABA〟と呼ばれる「対宇宙人美女軍団」。一方、アンドレ星人総帥は捕えた10人の女性を巨大化させ、女子型最終兵器〝女子ザジャイアント〟を生み出す。電サポ「ジャインティスチャンス」中は笑えるバトルが展開。継続率は約85%で、圧倒的な連続性と爽快感を楽しめる。

次回掲載は6月28日です
過去の掲載はこちらで読めます http://www.nikkoso.jp